

第68期 報 告 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P 株式会社ディ・ティ・ネクスト OUGグループ食品加工事業
「食の総合提案企業」を目指します。
- 7P Information
株主優待制度
- 8P 株主メモ・Web information



代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚く
お礼申し上げます。

さて、当社第68期（平成25年4月
1日から平成26年3月31日まで）の
事業および財務の概況のご報告を
申し上げます。

平成26年6月

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済財政政策を背景として、企業の生産活動や収益の改善は徐々に雇用・所得環境、国内需要の改善につながり、緩やかに回復しつつありました。このような経済状況の中、個人消費は堅調に推移しておりますが、日常消費に対する節約志向は依然強く続いております。

水産物流通業界におきましては、海外水産物は円安および一部魚種の不漁ならびに国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、国内水産物は異常気象の影響により漁獲が変動するなどの外部環境の厳しさが続きました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は3,124億74百万円（前年同期比102.8%）となりました。損益面では、売上総利益は226億98百万円（前年同期比108.3%）となり、営業利益19億6百万円（前年同期は営業損失2億86百万円）、経常利益19億55百万円（前年同期は経常損失2億98百万円）、当期純利益16億62百万円（前年同期は当期純損失6億37百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により1,942億17百万円（前年同期比101.7%）、売上総利益率の改善と間接経費全般の節減によりセグメント利益11億97百万円（前年同期はセグメント損失30百万円）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は、販売数量は減少したもののエビ商材等の相場高騰による販売単価の上昇により1,163億18百万円(前年同期比104.3%)、仕入価格の高騰を受けましたが、売上高の増加、間接経費全般の節減によりセグメント利益3億77百万円(前年同期はセグメント損失44百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は、養殖ブリの相場が前年度の低相場から上昇傾向にあり68億14百万円(前年同期比114.7%)、燃料、餌料価格高騰の影響を受け生産原価は上昇しましたが、売上高の増加、間接経費全般の節減に努めセグメント利益2億14百万円(前年同期はセグメント損失3億41百万円)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は、定塩鮭冷凍製品の安定的な生産拡大を基礎に販売拡大を図り48億30百万円(前年同期比112.0%)となりましたが、原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失1億6百万円(前年同期はセグメント損失1億50百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業の売

上高は、通過物量は増加したものの、付帯事業の減少などにより21億12百万円(前年同期比95.0%)、セグメント損失28百万円(前年同期はセグメント損失34百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他の売上高は、44億83百万円(前年同期比106.2%)、セグメント利益64百万円(前年同期はセグメント損失12百万円)となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、個人消費が中心として景気を下支えすると予測されますが、海外景気の下振れリスクや消費税増税後の消費の冷え込み等も懸念され、先行き不透明な状況にあります。

また、水産物流通業界におきましては、海外調達競争や国内販売競争の激化、消費者の日常消費に対する節約志向の継続、購買行動の多様化など厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。また、グループ経営基盤の強化を図り業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|-----------------|----|----------------|----------------|
| | | (平成26年3月31日現在) | (平成25年3月31日現在) |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | 47,822 | 47,234 |
| 現金及び預金 | | 1,971 | 1,794 |
| 受取手形及び売掛金 | | 26,461 | 27,710 |
| 商品及び製品 | | 18,352 | 16,785 |
| 仕掛品 | | 1 | 1 |
| 原材料及び貯蔵品 | | 202 | 119 |
| 繰延税金資産 | | 413 | 457 |
| その他 | | 677 | 758 |
| 貸倒引当金 | | △ 259 | △ 392 |
| 固定資産 | | 21,197 | 21,746 |
| 有形固定資産 | | 11,291 | 11,807 |
| 建物及び構築物 | | 2,854 | 3,034 |
| 機械装置及び運搬具 | | 929 | 1,000 |
| 工具、器具及び備品 | | 307 | 324 |
| 土地 | | 6,889 | 7,004 |
| リース資産 | | 290 | 443 |
| 建設仮勘定 | | 19 | — |
| 無形固定資産 | | 3,409 | 3,408 |
| ソフトウェア仮勘定 | | 3,285 | 3,274 |
| その他 | | 124 | 134 |
| 投資その他の資産 | | 6,496 | 6,530 |
| 投資有価証券 | | 5,467 | 5,613 |
| 関係会社株式 | | 76 | 26 |
| 長期貸付金 | | 54 | 100 |
| 破産更生債権等 | | 891 | 1,598 |
| 繰延税金資産 | | 155 | 80 |
| その他 | | 769 | 753 |
| 貸倒引当金 | | △ 918 | △ 1,642 |
| 資産合計 | | 69,019 | 68,980 |

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|--------------------|----|----------------|----------------|
| | | (平成26年3月31日現在) | (平成25年3月31日現在) |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | 40,867 | 44,924 |
| 支払手形及び買掛金 | | 18,349 | 20,098 |
| 短期借入金 | | 16,315 | 15,200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | | 1,842 | 5,240 |
| リース債務 | | 750 | 715 |
| 未払法人税等 | | 157 | 179 |
| 未払消費税等 | | 143 | 119 |
| 賞与引当金 | | 649 | 643 |
| その他 | | 2,660 | 2,727 |
| 固定負債 | | 11,550 | 8,741 |
| 長期借入金 | | 6,417 | 2,838 |
| リース債務 | | 1,017 | 1,756 |
| 繰延税金負債 | | 703 | 691 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | | 373 | 376 |
| 退職給付引当金 | | — | 2,475 |
| 退職給付に係る負債 | | 2,436 | — |
| 役員退職慰労引当金 | | 102 | 89 |
| 資産除去債務 | | 160 | 153 |
| 長期未払金 | | 19 | 31 |
| その他 | | 318 | 328 |
| 負債合計 | | 52,417 | 53,665 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | | 16,168 | 14,828 |
| 資本金 | | 6,495 | 6,495 |
| 資本剰余金 | | 6,090 | 6,153 |
| 利益剰余金 | | 3,765 | 2,424 |
| 自己株式 | | △ 183 | △ 244 |
| その他の包括利益累計額 | | 431 | 486 |
| その他有価証券評価差額金 | | 792 | 805 |
| 繰延ヘッジ損益 | | 3 | 12 |
| 土地再評価差額金 | | △ 337 | △ 332 |
| 退職給付に係る調整累計額 | | △ 26 | — |
| 少数株主持分 | | 2 | — |
| 純資産合計 | | 16,601 | 15,314 |
| 負債純資産合計 | | 69,019 | 68,980 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|---------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | [自平成25年4月1日 至平成26年3月31日] | [自平成24年4月1日 至平成25年3月31日] |
| 売上高 | | 312,474 | 303,973 |
| 売上原価 | | 289,776 | 283,017 |
| 売上総利益 | | 22,698 | 20,955 |
| 販売費及び一般管理費 | | 20,791 | 21,242 |
| 営業利益(△損失) | | 1,906 | △ 286 |
| 営業外収益 | | 408 | 413 |
| 受取利息 | | 4 | 5 |
| 受取配当金 | | 120 | 118 |
| 負ののれん償却額 | | — | 42 |
| 受取賃貸料 | | 57 | 58 |
| 補助金収入 | | 55 | 0 |
| その他 | | 170 | 188 |
| 営業外費用 | | 359 | 425 |
| 支払利息 | | 308 | 332 |
| その他 | | 50 | 93 |
| 経常利益(△損失) | | 1,955 | △ 298 |
| 特別利益 | | 59 | 75 |
| 投資有価証券売却益 | | 40 | — |
| 固定資産売却益 | | 18 | 15 |
| 受取和解金 | | — | 60 |
| 特別損失 | | 153 | 59 |
| 減損損失 | | 126 | 17 |
| 固定資産売却損 | | 17 | — |
| 固定資産除却損 | | 9 | — |
| 事務所移転費用 | | — | 39 |
| その他 | | — | 3 |
| 税金等調整前当期純利益(△損失) | | 1,861 | △ 282 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 220 | 163 |
| 法人税等調整額 | | △ 23 | 196 |
| 法人税等合計 | | 197 | 359 |
| 少数株主損益調整前当期純利益(△損失) | | 1,664 | △ 642 |
| 少数株主利益(△損失) | | 2 | △ 4 |
| 当期純利益(△損失) | | 1,662 | △ 637 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 平成25年4月1日残高 | 6,495 | 6,153 | 2,424 | △ 244 | 14,828 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 327 | | △ 327 |
| 当期純利益 | | | 1,662 | | 1,662 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 9 | △ 9 |
| 自己株式の処分 | | △ 63 | | 71 | 8 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 5 | | 5 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | △ 63 | 1,340 | 61 | 1,339 |
| 平成26年3月31日残高 | 6,495 | 6,090 | 3,765 | △ 183 | 16,168 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|---------------------------|------------------|-------------|--------------|------------------|-------------------|------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 平成25年4月1日残高 | 805 | 12 | △ 332 | — | 486 | — | 15,314 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △ 327 |
| 当期純利益 | | | | | | | 1,662 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △ 9 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 8 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | △ 5 | | △ 5 | | — |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | △ 13 | △ 8 | | △ 26 | △ 48 | 2 | △ 46 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | △ 13 | △ 8 | △ 5 | △ 26 | △ 54 | 2 | 1,286 |
| 平成26年3月31日残高 | 792 | 3 | △ 337 | △ 26 | 431 | 2 | 16,601 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|------------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | [自平成25年4月1日 至平成26年3月31日] | [自平成24年4月1日 至平成25年3月31日] |
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 327 | 1,810 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △ 393 | △ 587 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | | 253 | △ 1,610 |
| IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | — | — |
| V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | | 187 | △ 387 |
| VI. 現金及び現金同等物の期首残高 | | 1,779 | 2,167 |
| VII. 現金及び現金同等物の期末残高 | | 1,966 | 1,779 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)

資本金 6,495百万円

発行済株式総数 55,622,921株

従業員数 連結 1,290名 単独 36名

役員の体制

| | | |
|-----|---------|------|
| 取締役 | 代表取締役社長 | 谷川正俊 |
| | 取締役 | 村松保範 |
| | 取締役 | 増田安利 |
| | 取締役 | 三輪光幸 |
| | 取締役 | 勝田昇夫 |
| | 取締役 | 角田晴夫 |

| | | |
|-----|-------|--------------|
| 監査役 | 常勤監査役 | 玉田耕也 |
| | 監査役 | 谷和道雄 |
| | 監査役 | 富田英孝 (社外監査役) |
| | 監査役 | 和田徹 (社外監査役) |
| | 監査役 | 伊藤博通 (社外監査役) |

相談役 相談役 溝上源二

| | | |
|------|--------|------|
| 執行役員 | 常務執行役員 | 中江一夫 |
| | 執行役員 | 原田史郎 |
| | 執行役員 | 岡田雅之 |

株式の状況

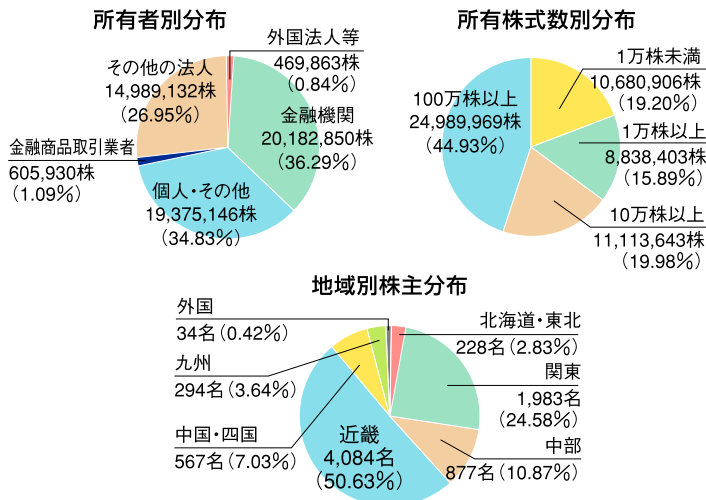
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 209,159,000株 |
| 発行済株式の総数 | 55,622,921株 |
| 株主数 | 8,067名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 株式会社 マルハニチロホールディングス | 7,450 | 13.41 |
| 日本生命保険相互会社 | 3,496 | 6.29 |
| 農林中央金庫 | 2,636 | 4.74 |
| 株式会社 みずほ銀行 | 2,000 | 3.60 |
| 株式会社 りそな銀行 | 1,842 | 3.31 |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行 | 1,742 | 3.13 |
| 三菱UFJ信託銀行 株式会社 | 1,519 | 2.73 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口) | 1,150 | 2.07 |
| 丸大食品 株式会社 | 1,150 | 2.07 |
| 株式会社 丸徳水産 | 1,003 | 1.80 |

- (注) 1.持株比率は、自己株式(45,277株)を控除して計算しております。
 なお、従業員持株ESOP信託として保有する当社株式(946,000株)は当該自己株式には含めておりません。
 2.株式会社マルハニチロホールディングス(吸収合併消滅会社)は、株式会社マルハニチロ水産(吸収合併存続会社)と平成26年4月1日付で合併し、株式会社マルハニチロホールディングスの所有する当社の全株式は株式会社マルハニチロ水産に承継されております。なお、株式会社マルハニチロ水産は同日付でマルハニチロ株式会社に商号変更しております。

株式分布



■「食の総合提案企業」を目指します。

(株)ディ・ティ・ネクストはOUGグループの食品加工事業の一翼を担い、主にホテル、結婚式場、レストラン等の調理代行業務などを行っております。

同社では、西洋料理・中華料理、パーティー料理・おせち料理などの幅広い分野において、あらゆる食材の下処理加工、一品料理の製造業務などを行っており、セントラルキッチンとしても活用していただいております。

このような業務を行うにあたっては、ホテルのシェフ経験者によるメニュー開発や高い調理技術が強みとなっております。

また、同社が保有する高いノウハウを活用して、料理に関するマーケット調査の実施、オリジナルメニューの開発、厨房での機材設備や人員の配置等に関する調理オペレーションの提案など、お得意先様のご要望・課題解決にお応えしております。

今後は、社会構造の変化、消費者の生活様式の変化などにより「食」に対する価値観や考え方が変化しており、「食」にまつわる新たなニーズが発生する環境下にあって、同社は既存の業務をベースにソリューション業務へも領域を広げ、お得意先様のご要望・課題解決にきめ細かくお応えし喜んでいただくべく「食の総合提案企業」を目指してまいります。

株式会社 ディ・ティ・ネクスト

所在地：〒613-0035

京都府久世郡久御山町大字下津屋小字北野46-2

〈盛り付け例〉



・オマールのポアレ サフランソース・



・鯛のバプール・
季節の野菜と共に
シェリービネガーソース



・本たらば蟹のテリーヌ・
香草サラダを添えて



食品安全管理システム：

徹底したチェックシステムにより食品安全衛生管理を行っております。調理スタッフへの指導を徹底するとともに、食材入庫時の検品、下ごしらえの段階での目視によるチェック、エックス線導入による異物混入の防止体制を確立しています。

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度

(1) 対象株主様

毎年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された、1単元(1,000株)以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

(2) 優待の内容

- 1,000株以上5,000株未満ご所有の株主様へ3,500円相当の水産加工品を贈呈
- 5,000株以上ご所有の株主様へ7,000円相当の水産加工品を贈呈
数種類の品目よりお選びいただけます。

(3) 贈呈時期

毎年、12月上旬を予定しております。

昨年、ご好評いただいた優待の人気商品!!



輪島の幸 干物詰合せセット
(3,500円 相当)



冷凍ほたて貝柱 (生食用)
(3,500円 相当)



炭火蒲焼うなぎセット
(7,000円 相当)



塩紅鮭姿切
(7,000円 相当)

単元未満株式の買取請求について

(1) 買取請求について

単元株(当社の場合 1単元:1,000株)に満たない株式を、発行会社に対して市場価格にてその株式を買取よう請求することができます。

(2) 買取請求の手続きについて

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、ご所有の単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。(株主メモをご参照ください。)

株主メモ

| | |
|---------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料） |

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（特別口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・ 東京 TEL 0120-244-479（通話料無料）
 - ・ 大阪 TEL 0120-684-479（通話料無料）
- http://www.tr.mufg.jp/daikou/

| | |
|-----------|---|
| 上場金融商品取引所 | 東京証券取引所市場第一部（証券コード 8041） |
| 公告方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp |

免責事項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

TOP PAGE



株主優待を
画像等で紹介
しております。

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

IR情報



<http://www.oug.co.jp>

COMPANY PROFILE



GROUPについて

グループ会社について
動画等で紹介しております。





OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階

TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

